



# 泉大津市市制施行80周年ロゴマーク投票結果

決定したロゴマーク	ロゴマークの説明	得票数
	<p>毛布の名産地なので毛糸玉で80を表しました。周囲を囲む円も刺繍のようにして、途切れない円が続くことは泉大津の今後の益々の発展の願いを込めています。市民の皆様だけでなく市外の方からも好かれるような愛らしいデザインにしました。</p>	256

候補	ロゴマークの説明	得票数
	<p>80の文字をベースに、泉大津市とともに歩んできた文化遺産の浜街道と、毛布のまちとしての発展を流動的に描き、市の木・クスノキと市の花・サツキと繊維製品イメージを配して、心を豊かに未来へすすみ物流拠点として拡がり続ける姿を表現しています。イメージカラーは、山々など自然のグリーン、大阪湾のブルー、サツキのピンク、市民のぬくもりや優しさのオレンジです。</p>	240
	<p>「毛布・ニットのまち泉大津」をテーマに、ニット糸で羊を描き、柔らかく親しみやすいロゴをデザインしました。羊の顔を右上に向けることで、数値が上がり状態がよくなることを意味する「右肩上がり」を表現し、将来へ向けて発展する泉大津市を表現しました。ニット糸の色は市の花であるさつきをイメージしたピンク色を使用しています。</p>	235
	<p>「繊維の街」から着想を得て、繊維をイメージしたモチーフをつけました。 ∞(無限)に見える部分には、これからも泉大津の歴史は紡がれ、人々の笑顔とともに続いていきますよという願いをもとに制作しました。 発展していく未来ある泉大津はキラキラと輝いています。</p>	224
	<p>泉大津市は「毛布のまち」であることをモチーフにしました。 綿花(和泉木綿)の集散地であり、毛布は綿糸と紡毛糸で作られることをイメージし、80周年を意味する「80」をフワフワもこもこ感のあるデザインにしています。 「0」を示す巻き糸の色は「泉大津市の明るい未来」を意味し、「8」を擬人化して「住んでるみんなが笑顔で暮らせるまち」であってほしいという思いを込めています。</p>	209
	<p>泉大津市は全国一毛布の生産量が多いということがさらに多くの人に認知されるよう、「80」の「8」を糸のようになやかに、「0」を毛糸玉に見立てました。また、外側の二つの円は羊のシルエットをイメージしています。 円が二重であるのは、泉大津市がこれからも明るく活気あるものへと進化し、広がっていくよという願いが込められているためです。 メインカラーには市のイメージカラーである「オツブルー」を使用させていただくことでホームページや広報誌、その他様々な場面・用途に合うようになっています。</p>	54

総投票数

1218